

## 令和6年度土木関係公共事業等箇所付けについて（当初予算分）

### 1 箇所付け方針

令和の公共インフラニューディール政策を推進するため、治水・海岸・土砂災害対策や、橋梁、トンネルなどの老朽化対策を前倒しで実施し、幹線道路や歩道、消雪施設の整備、港湾の機能強化など、物流と生活を支える社会資本の整備に努め、県土の強靱化を加速する。

#### (1) 公共事業

災害に強い強靱な県土づくりやインフラ老朽化対策など、安全・安心や地域の活性化の基盤となる社会資本の整備を着実に推進する。

#### (2) 単独事業

公共事業を補完し、県民生活に密着した安全、安心に係る社会資本の整備を着実に推進する。

### 2 箇所数及び箇所付金額（事業費ベース）

合計 435箇所 33,369百万円

#### (1) 公共事業

（金額単位：百万円）

事業区分	今回箇所付分				
	新規箇所数	継続箇所数	合計	うち完了	箇所付金額
道路	3	72	75	8	11,325
河川・海岸	1	35	36		2,323
砂防	14	85	99	4	3,734
港湾・空港	1	21	22	1	1,607
都市計画	2	21	23	2	3,418
下水道		5	5		1,162
公共計	21	239	260	15	23,569

※「河川・海岸」：河川事業及び海岸事業 「港湾・空港」：港湾事業、港湾海岸事業及び空港事業

#### (2) 単独事業

（金額単位：百万円）

事業区分	今回箇所付分				
	新規箇所数	継続箇所数	合計	うち完了	箇所付金額
道路	9	92	101	10	6,575
河川・海岸		20	20		1,262
砂防		17	17		429
港湾・空港	1	9	10		688
都市計画	2	25	27	3	846
単独計	12	163	175	13	9,800

※「河川・海岸」：河川事業及び海岸事業 「港湾・空港」：港湾事業及び空港事業

### 3 代表箇所

番号	事業名	箇所名 (地区名)	主な事業内容	事業主体	新規区分	事業期間
1	道路橋りょう改築費	(主)高岡環状線 (高岡市上伏間江～佐野)	道路改良工事(高架化)	県		H27～
2	道路橋りょう改築費	(一)安居福野線 川崎橋 (南砺市上川崎)	橋梁更新工事	県		H26～
3	道路橋りょう改築費	(主)富山魚津線 今川橋 (富山市高来～水橋辻ヶ堂)	橋梁更新工事	県		H28～
4	道路橋りょう改築費	(一)小摺戸芦崎線 (入善町東狐)	歩道設置工事	県		R2～
5	道路総合交付金事業費	(主)魚津生地入善線 (魚津市東町～黒部市石田)	道路改良工事(バイパス)	県		R2～
6	河川改修費	泉川〔島尾工区〕 (氷見市島尾外)	橋梁架替工	県		R3～
7	海岸総合交付金事業費	富山海岸 (富山市浜黒崎外)	離岸堤整備	県		S41～
8	河川改修費	白岩川ダム (立山町白岩)	ダム管理設備改良	県		R2～
9	街路事業費	富山駅付近連続立体交差事業 (富山市明輪町～曙町)	富山地方鉄道本線の高架化等	県		H16～

このほかに、工期1年未満の債務負担行為(68箇所、3,320百万円)を設定している。

## 令和6年度土木関係公共事業等箇所付け（当初予算分）の代表箇所について

### 1 道路橋りょう改築費 主要地方道 <sup>たかおかかんじょうせん</sup>高岡環状線 <sup>かみふすまえ</sup>（高岡市上伏間江～<sup>さの</sup>佐野）

- ・本路線の高岡市上伏間江から佐野までの延長2.6kmの区間は、能越自動車道などの高規格幹線道路とネットワークを構成する高規格道路の一部である。当該区間は、副道を利用した暫定平面2車線で供用しているが、交通量の増加により慢性的な交通渋滞が発生している。
- ・高架橋を整備することで渋滞の解消を図り、安全で円滑な交通を確保するとともに、物流の効率化、地域間交流・連携の促進を図るものである。
- ・令和6年度当初では、橋梁上部工等を実施し、事業を推進する。

### 2 道路橋りょう改築費 一般県道 <sup>やすいふくの</sup>安居福野線 <sup>かわさきばし</sup>川崎橋 <sup>かみかわさき</sup>（南砺市上川崎）

- ・本路線は、南砺市安居<sup>やすい</sup>を起点とし福野市街地<sup>ふくの</sup>を経て南砺市百町<sup>ひやくちよう</sup>へ至る路線である。路線沿いには、小学校、中学校、工場等があり、通勤通学にも利用される重要な生活道路となっている。また、当路線上に東海北陸自動車道南砺スマートICが平成27年3月に供用を開始しており、交通需要が高まっている。
- ・川崎橋は幅員が5.5mと狭く通行の支障となっているうえ、老朽化が進行しているため、架け替えを行い、災害に強い安全な道路を整備するとともに、道路幅を確保し円滑な交通の確保を図る。
- ・令和6年度当初予算では、旧橋の撤去を実施する。

### 3 道路橋りょう改築費 主要地方道 <sup>とやまうおづ</sup>富山魚津線 <sup>いまがわばし</sup>今川橋 <sup>こうらい</sup>（富山市高来～<sup>みずはしつじがどう</sup>水橋辻ヶ堂）

- ・本路線は、富山市を起点とし魚津市に至る第3次緊急輸送道路に指定されている重要な幹線道路である。
- ・一級河川常願寺川の河口付近に架かる今川橋は、昭和38年の架橋から61年が経過し、飛来塩分等による鉄筋の腐食やコンクリートのひび割れが発生し、大規模な修繕工事を実施しても健全性が確保できない状態にある。よって更新工事を実施することにより、安全で円滑な交通確保を図るものである。
- ・令和6年度当初予算では、橋梁下部工（2基）、及び上部工工事を実施する。

### 4 道路橋りょう改築費 一般県道 <sup>こすりどあしざき</sup>小摺戸芦崎線 <sup>とっこ</sup>（入善町東狐）

- ・当該路線は、入善町西部における生活道路であり、当該事業箇所においては飯野小学校の通学路に指定されている。
- ・しかしながら、当該事業箇所は歩道が未整備で車道幅員も狭小であるため、車両のすれ違いが困難であり、児童の登下校時には大変危険な状況であることから平成24年度に通学路緊急合同点検箇所にも指定されている。
- ・このため、当該事業により歩道を早急に整備し、通学児童等にとって、安全で快適な歩行者空間を確保する。
- ・令和6年度当初予算では、用地・物件補償、道路改良工事を行う。

## 5 道路総合交付金事業費 主要地方道 魚津生地入善線（魚津市東町～黒部市石田）

- ・本事業は、魚津市東町地内から黒部市石田地内において、二級河川片貝川最下流に県道魚津生地入善線の新橋を架設するバイパス整備事業であり、富山湾や立山連峰を眺望できる湾岸道路の一部となる区間である。
- ・現道は、幅員が狭く、人家が連坦し、歩道も整備されていないことから、安全で円滑な交通が確保されていない状況である。本事業により、現道交通がバイパス道路に転換されることにより、沿道地域の交通安全の向上が図られる。
- ・令和6年度当初予算では、魚津市側の用地買収及び物件補償並びに黒部市おおしまパークゴルフ場の補償を実施し、事業推進を図る。

## 6 河川改修費 二級河川泉川水系泉川（氷見市島尾外）

- ・二級河川泉川水系泉川は、河積が狭小なため浸水被害が発生しており、昭和51年の豪雨では、床下浸水5戸、平成20年8月の豪雨では浸水面積32ha、床下浸水4戸の浸水被害が発生した。
- ・このため、平成元年度に河川改修事業に着手し、これまでに河口部から上流の上泉地内までJR橋梁部を除く延長870mにおいて、河床掘削、築堤等の河川改修を進め、浸水被害の解消を図っている。
- ・ボトルネックとなっているJR橋梁の区間については、JRとの鉄道橋架替え協議が整ったことから、令和3年度より事業を進めており、このうち、JR橋梁架替工事は令和4年度に着手し、令和5年度には仮線への振り替えが完了した。
- ・令和6年度は、JR橋梁の上部工と護岸工を実施する予定である。

## 7 海岸総合交付金事業費 富山海岸（富山市浜黒崎外）

- ・富山海岸は、富山湾の中央に位置し、背後には人家が集積しており、学校、下水処理場も立地している。さらに、海沿いの県道富山魚津線沿線には、レクリエーション施設として、富山湾岸サイクリングコース、キャンプ場、海水浴場等があり、広く県民に親しまれている。
- ・しかし、富山湾特有の寄り回り波や冬季風浪により海岸の侵食が著しく、一部では砂浜が消失しつつある。
- ・このため、侵食防止及び背後地への越波防止を図るとともに、景観、海浜の利用及びアクセスの向上を目指した施設を配置し、背後地の利用にも考慮した海岸の整備を進める。
- ・令和6年度は、引き続き副離岸堤の整備を実施する。

## 8 河川改修費 白岩川ダム（立山町白岩）

- ・白岩川ダムは、「洪水調節」「流水の正常な機能の維持」「水道用水の確保」を目的として建設された多目的ダムであり、長寿命化計画に基づき維持管理等を行っているが、設備の老朽化が著しいことから、ダム管理用設備の改良を行い、ダム管理の確実性・信頼性の向上を図る。
- ・令和6年度は、警報設備の改良を実施する。

## 9 街路事業費 富山駅付近連続立体交差事業（富山市明輪町<sup>めいりんちょう</sup>～曙町<sup>あけぼのちょう</sup>）

- ・富山駅周辺地区では、鉄道と交差する道路に交通渋滞が発生しており、また、鉄道による地区の分断で効率的な土地利用等に支障をきたしている。
- ・富山駅付近の在来線を高架化することにより、道路の新設や拡幅による渋滞の解消、駅南北の一体的なまちづくりを推進し、県都の玄関口にふさわしい魅力ある都市空間の創出を図るものである。
- ・平成31年3月に、あいの風とやま鉄道線全線の高架化が完成した。
- ・富山地方鉄道本線の高架化については、令和4年12月に仮線への切替が完了し、令和5年5月から高架橋工事に着手した。
- ・令和6年度は、富山地方鉄道本線高架橋工事の進捗を図るとともに、あいの風とやま鉄道線仮線撤去工事を実施する。